地域医療支援病院 富山市民病院

れんけいと支援

No.208
2021.8月号

地域の医療・保健・介護・福祉の方とともに、皆様の健康をお守りします

Face to Face,
Heart to Heart

富山市今泉北部町2-1／Tel: 076（422）1112㈹ http://www.tch.toyama.toyama.jp／発行日 2021年8月

肺非結核性抗酸菌症について

呼吸器内科　**野村　智**

近年、肺非結核性抗酸菌症の罹患率は肺結核を上回り、今や公衆衛生上重要な呼吸器感染症となってきています。疾患の認知度も上がってきたようで、新聞のコラムで取り上げられたり、「肺マック症・・」の本の広告が載っていたりするのを見かけるようになってきました。しかしながらこの肺非結核性抗酸菌症、我々の目から見てもいろんな意味で悩みどころの多い疾患です。

まず疾患名ですが、長い！ ワクチンの予診票に病名記入欄があり、患者さんから病名を聞かれる機会が増えましたが、必ず聞き返されます。抗酸菌群のうち結核じゃない方、と説明してもピンときません。実は私も便宜上「抗酸菌は..」と説明することも多いのですが、抗酸菌群には結核菌も含まれるので、正確な表現ではありません。非結核性抗酸菌（Nontuberculous Mycobacteria）から肺NTM症と略記されることも多いですが、呼び名は今一つ歯切れが悪いです。肺NTM症の中でも約90%はMycobacterium avium complex（MAC）が占めており、MACが原因菌であれば肺マック症と呼ぶのが最も覚えやすく伝わるでしょうか。

さて前置きが長くなりましたが、非結核性抗酸菌は、自然界の土壌、水系、都市の給水システムなどに広く生息する環境生育菌であり、エアロゾルを吸い込むことにより経気道的に感染します。ヒトからヒトへの感染がない点で、菌検出≒治療必須である結核と対応が大きく異なります。詳細はよく分かっていませんが中高年でやせ型の女性に多い傾向にあり、最近では検診での胸部異常影で発見される例も増えてきました。特にCTで中葉・舌区を中心とした結節影と気管支拡張が肺MAC症を強く疑う所見になります。診断には菌の検出が必須ですが、抗酸菌検査をしないことには始まらないので、当院では繰り返し抗酸菌検査を行い、良質な痰の採取が困難な例では気管支鏡検査を積極的に行っています。

肺MAC症の治療に関しては、推奨された標準治療（リファンピシン＋エタンブトール＋クラリスロマイシン±アミノグリコシド）がありますが、まだまだ治癒が見込めないのが現状です。しかし、2019年2月にアミカシン（点滴）、2020年2月にアジスロマイシンの投与が承認され、少し治療の幅が広がってきました。更にはリポソーム化アミカシン（アリケイス®）の吸入が2021年3月に承認され、従来治療に追加することにより排菌陰性化率の上昇が報告され、新たな治療選択肢となりました。ただし、アミノグリコシド系抗菌薬一般にみられる聴器毒性には同様な注意が必要であり、また専用のネブライザシステムを使用して吸入するため薬液のセットや洗浄・消毒などのメンテナンスが必要であり、高齢者では難しいかもしれません。

抗酸菌症は、まず疑ってかからないことには診断・治療が進みません。血痰などの症状、レントゲンやCTで結節・空洞・気管支拡張などの所見があった場合など、お気軽にご紹介いただければ幸いです。

（アリケイス.jp より）

9月分 研修・講演・学習会のご案内

1. 地域連携症例検討会

日 時：9月14日（火）　19：00～20：15　場所：当院3階　講堂

1）症例検討

（1）「高齢者てんかんの1例」

脳神経内科　谷口　優

（2）「初診時に膿尿を認めなかったものの、敗血症に至った結石性腎盂腎炎の1例」

泌尿器科　高瀬　育和

2）ミニレクチャー

「脳卒中治療ガイドライン2021からみた脳梗塞急性期に対する機械的血栓回収療法」

脳神経外科　毛利　正直、宇野　豪洋、山野　潤

脳梗塞急性期に対する治療は薬物治療を中心とした内科治療が重要な役割を占めていますが、今回は2021年7月に全面改定された脳卒中治療ガイドライン2021の脳梗塞急性期に対する機械的血栓回収療法ついて説明します。発症早期の脳梗塞では、①内頚動脈または中大脳動脈M1部の急性閉塞、②発症前のmRSスコアが0または1、③頭部CTまたはMRI拡散強調画像でASPECTSスコアが6点以上、④NIHSSスコアが6点以上、⑤年齢18歳以上、のすべてを満たす症例に対してtPA静注療法を含む内科治療に追加して、発症から6時間以内にステントリトリーバーまたは血栓吸引カテーテルを用いた血栓回収療法を開始することが勧められる。最終健常確認時刻から6時間を超えた内頚動脈または中大脳動脈の急性閉塞による脳梗塞では、神経徴候と画像診断に基づく治療適応判定を行い、最終健常確認時刻から16時間以内に血栓回収療法を開始することが勧められる。また、16～24時間以内に同療法を開始することが妥当である。ASPECTSが6点未満の広範囲虚血例、NIHSSスコア6点未満の軽症例、中大脳動脈M2部閉塞例、発症前のmRSスコアが2以上の症例、脳底動脈の急性閉塞、以上に関して血栓回収療法を行うこと、発症から4.5時間以内にtPA療法を行わずに血栓回収療法を行うことも考慮しても良いと記載されています。以上より今後は治療デバイスの選択が広がり、最終健常確認時刻から時間が経過している症例、重症例または軽症例、様々な閉塞部分の症例についても治療を考慮していく必要があります。当院でもこれまで以上に多くの症例に血栓回収療法を行い脳梗塞急性期の治療に貢献できるように発症から治療までが円滑に行えるように広報活動を行っていきたいと考えています。

※定例の研修会、看護研修

当面の間、開催を見合わせております。

衛星研修S－QUE研修は、今年度より開催中止となりました。

作：病院ボランティア 篠崎 佳子

救急医療における放射線診療の役割

日本救急撮影技師認定機構　救急撮影認定技師
放射線技術科　診療放射線技師　刑部　洋志

救急医療における放射線診療のニーズは高く、当院が担う二次救急体制でもなくてはならない存在です。CTやMRIを代表とする各種画像診断装置の進歩は目覚ましく、画質の向上や検査時間の短縮などにより、一刻を争う救急医療においても、診療ガイドラインで「正当化」された放射線診療は、医療被ばく等のリスクを差し引いてもメリットが高くなります。

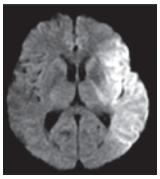
その中で、救急撮影認定技師の役割は、救急医療において放射線診療の専門的な知識と技術を高め普及し、円滑な業務をサポートすることです。

現在、救急医療における放射線診療では、次の２点について心掛けています。

第一に、CTやMRIなどの各種検査を適切に実施することです。急性期脳梗塞や脊髄損傷などには専門性の高いMRI検査が有用ですが、当科では日夜を問わず対応できるようスタッフを配置し、t-PA静脈療法や血栓回収療法へ早急に移行できるよう努めています。また、血管および整形領域でニーズの高い、ワークステーションを用いた3D画像構築も、短時間でより多くの情報を提供する事が救急医療では重要と考えています。

次に、放射線診療の安全を確保することです。外傷診療におけるX線撮影では、バックボード下にスペーサーを使用して、二次損傷の回避と患者さんの苦痛を最小限にするよう努めています。

我々、診療放射線技師が提供した画像が患者さんの診断または治療へと繋がることの重要性とその意義を痛感し、今後も救急医療に寄与できるよう全力を尽くしたいと考えています。



医師不在のお知らせ　9月

※外来担当日の休診のみ掲載

科名	医師名	不在日
内科	林	10日
	寺崎敏	17日
	大田聡	21日
	水野	17日
	毛利研	17日
	赤崎	13日
	山形	30日
	釜田	17日
外科 消化器外科 乳腺外科	佐々木	8日、10日
	名倉	22日
	竹中	3日、7日、24日
	山崎	9日
泌尿器科	児玉	21日、22日
整形外科・関節再建外科	河合	27日、30日
産婦人科	長谷川徹	10日
	津田竜	24日

科名	医師名	不在日
精神科	長谷川雄	1日、3日、24日、29日
皮膚科	野村佳	13日、29日
	大村	7日、17日
脳神経外科	山野	17日
	宇野	6日、8日
呼吸器・血管外科	土岐	10日、21日、22日、24日
	武内	7日
小児科	仲岡	21日、22日、24日、27日、28日
	西島	3日、6日、13日、15日
眼科	山田芳	24日、27日
	髙松	10日
	狩野	17日
耳鼻いんこう科・頭頸部外科	辻	24日、27日
歯科口腔外科	寺島	21日、22日、24日
	朝倉	13日

※その他、急に不在となることがありますので、ふれあい地域医療センターまでお問い合わせください。TEL 076-422-1112（代）内線2168

編集後記

処暑を過ぎ、朝夕はいくぶん過ごしやすくなってまいりました。連日降る雨の影響もあり暑さを感じない日もあったほどです。

夏になると涼を求め、また素晴らしい眺めや可憐に咲く山野草にも触れたいと山道を歩くことが多くなりました。こもれびの中を歩いていると木の葉が風で揺れる音や小鳥のさえずり声、川の流れる音など低山でも猛暑であることを忘れさせてくれます。頂上からの眺めはいつもより高い位置から見渡すことで、知っている地域もまた少し違った印象を受けます。山道はキツイ思いもたくさんしますが達成感があるため、また行きたいと思ってしまいます。大自然に敬意を持って、マナーを守り楽しませていただくという気持ちを忘れずにいたいです。

心身ともに元気に過ごし、体力づくりと心の栄養をしっかりとり、仕事にも意欲的でありたいと思います。

ふれあい地域医療センター　亀山　嘉子

クズバ山から見える剣岳

「れんけいと支援」に関するお問い合わせは、ふれあい地域医療センターまでご連絡ください。
送付を希望されない方はお申し出ください。

TEL 076（422）1114／FAX 076（422）1154
メールアドレス fureairenkei@tch.toyama.toyama.jp

ホームページ http://www.tch.toyama.toyama.jp/　がん何でも相談室：メールアドレス shien@tch.toyama.toyama.jp